

元気がわら版

●発行日:平成24年11月20日
●発行:社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会 庄原市西本町四丁目5番26号
●TEL0824-72-7120 ●FAX0824-75-0084 ●E-mail:info@shakyoshobara-city.or.jp

“住み慣れた地域で
いつまでも安心して暮らせる
地域づくりを目指して”



“地域の支えあいづくりを考える集い”を
開催しました

～おたがいさまネット事業報告会～

10月12日(金)、ふれあいセンターにおいて約200人の参加のもと開催しました。当日は、市社協山内会長から、庄原市の地域福祉の現状と課題についての講演のほか、「おたがいさまネット事業」を実践している4つの自治振興区の活動報告と県社協の上田地域福祉課長から総括をいただきました。

●目次

- P1…おたがいさまネット 事業・目次
- P2…おたがいさまネット 事業報告会
- P3…おたがいさまネット 事業
- P4…庄原報告・西城報告・東城報告・総領報告
- P5…口和報告・高野報告・比和報告・義援金
- P6…里山の工業知コーナー(庄原)・
庄原市指定給水装置工事事業者協会寄付金・
人権擁護委員・よろず相談
- P7…寄付金・協力寄付金
- P8…市民レポート(口和)・広告・
おせちボランティア募集・ボラ募集

庄原市における地域福祉の現状と課題

庄原市社会福祉協議会
会長 山内 文雄

今、庄原市の深刻な課題は何でしょうか?その一つは少子高齢化による人口の減少、二つ目には基幹産業である農林業の衰退、そして三つ目は自主財源や地方交付税等の減少により市の財政状況が悪化していることです。

今日は特に人口問題から地域課題を見てみましょう。市の人口はつい4万人を割り、この50年で半減しました。高齢化率は38%を超え、子どもの人口も50年で1/5以下になり小中学校の統廃合が続いています。

特に近年は75歳以上の後期高齢者の一人暮らしが大変増えており、このことが様々な地域課題につながっていると思います。

庄原市の介護保険の特徴は、介護認定を受けておられる方が高齢者の1/4を占め、認定率が国や県平均よりもはるかに高いことです。これが介護保険予算の増加になり、また保険料の高騰にもつながっています。高齢者の医療費も同様に高騰を続けています。

このような状況から地域の暮らしは、例えば通院や買物の交通手段の確保や家族、地域関係の希薄化など様々な課題が生じています。

そして「家族の力」や「地域の力」が低下し、これが行政依存の拡大につながっているのではないのでしょうか。

社会福祉協議会では、3年前から「おたがいさまネット事業」をスタートさせ、モデル地区で地域の助け合いの仕組みづくりに取り組んでおり、今後全市に拡大することを期待しています。



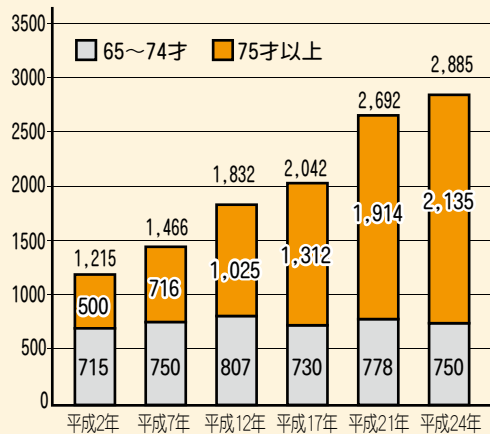
共催いただいた
庄原市自治振興区
連合協議会
永井 忠司 会長

元気な地域づくりを進めていくためには、家族の絆を基本としながら共助の仕組みづくりが不可欠だと思います。

そのために私たち一人ひとりがこれからどうすべきかを考えてみましょう。



一人暮らし高齢者の推移



■おたがいさまネット事業の概要

生活支援(見守り・買い物支援等)を行うことにより、地域の一人暮らし高齢者など支援を必要とする人が、安心して暮らせるように自治振興区、民生児童委員、ひとり暮らし高齢者等巡回相談員、老人クラブ等と協働し取り組んでいます。

平成23年度までに敷信・北・口和・山内・上高・下高・八銚の7自治振興区で取組み、本年度新たに5自治振興区を予定しています。

自治振興区の生活福祉部を中心におたがいさまネット事業を進めています。

見守り訪問員は、地域住民から選任し、生活状況や困り事などを聞いています。また、地域には移動販売をされている方がおられ、食料品や日用品のお届け、安否確認の役割も担っています。



敷信自治振興区
生活福祉部長 東 登美夫 氏

北自治振興区は、「自らの地域は、自ら守り自ら創る」という理念で活動を進めています。おたがいさまネット事業は、自治振興区の社会福祉部員が訪問員となり、見守り訪問に取り組んでいます。

訪問時の気づきなどは、関係機関とも連携し、利用者の安心につながる活動となっています。



北自治振興区
事務局長 高橋 秀則 氏

自治振興区と行政、社協が協力し、「口和のつどい」を開催して、住民啓発と自分達で何ができるかを考えていただく場をつくっています。

また、市外に出ておられる子どもさんへ「ふるさと応援会費」をお願いし、ふるさと産品や広報紙を送付しながら財源確保を進めています。

月1度の配食サービスに取り組み、見守り活動のひとつにもなっています。

口和自治振興区
事務局長
橋川 豊氏



以前より、地域の中で見守り活動の必要性を感じており、地域は地域で守っていこうという考えのもと、おたがいさまネット事業に取り組みました。

活動としては、地域の見守り活動を自治会単位に進めながら、公共機関や福祉施設、医療機関等と連携を図りながら進めています。

山内では、訪問による見守りと、ワンプッシュで親族の携帯へ発信履歴が残ることで安否確認ができる電話機を一人暮らし高齢者宅へ設置しました。また、災害時の避難を想定した協力態勢づくりにも取り組んでいます。

山内自治振興区
地域マネージャー
三上 智道氏



住民一人ひとりが抱えている困り事に一番気付けるのは専門職ではなく、ご近所やご家族であり、その困り事の情報も、きちんと届く仕組みが今必要となっており、その仕組みづくりがおたがいさまネット事業です。

今は、まだ地域で支えあいができるという気風がありますが、地域で支えあいの核となる本人・家族力(自助)をもう一度考え直す必要もあります。

国や県も自助・互助・公助の必要性をうたっています。この中山間地の庄原市では、“人つながり”こそが最大の力であり、関係機関がしっかり役割分担を行い、地域にネットワークを創っていくことが大切です。

この事業を進めながら生活のしづらさを改善し、喜びを見出し、胸を張っていい町だと言える地域づくりを皆さんと一緒に取り組んでいきましょう。

広島県
社会福祉協議会
地域福祉課長
上田 正之氏



■参加された皆様から多くのご意見・ご感想をいただきました。その一部を紹介します。

- * 地域でいかにして支えあうのか、というこの問題への関心の高さを改めて痛感した。
- * 今後も、報告会の形でも、今日のような会が開かれたら良いと思います。
- * 地域ネットワークづくり、大変参考になりました。「人つながり」は、民生児童委員としての活動が地域の他の力とつながれば更に大きな力を発揮することがよく分かりました。
- * 介護保険サービスだけではなく、住み慣れた地域との関わりを大切に連携を図り、在宅生活を送れるようにしていきたいです。
- * 高齢者になっても最後まで住み慣れた地域で暮らしたいと思っています。今は、皆様の力になり、やがては皆様に支えられながら暮らしていきたいと思いました。
- * 地域の支えあいづくりの本質を知らされた感じがします。これからの人つながりを大切に地域を守りたいと思います。

今後の 取組み

皆様からのご意見・ご感想を参考にさせていただき、各自治振興区と協働して「おたがいさまネット事業」を“すべての地区”で進めていきます。

地域で、お互いが気が掛け合い支えあって、誰もが安心して暮らせる仕組みを目指していきたいと思っています。

庄原地域センター

0824-72-7120

何よりじゃ

「みんな元気そうで何よりじゃ」「ほんまよあ。今日もみんなで楽しみましようや」元気な声が飛び交うこの場所で、第5回目の上谷地域サロン交流会が始まりました。

地域には3つのサロンがありますが、谷合の細長い地域の上(かみ)、中(なか)、下(しも)に点在しているので、普段は中々顔を合わす機会がありませんでした。サロン参加者から「同じ地域同士、年1回はみんなで寄ろうや」と声があがり、今ではみんな楽しみにされる恒例行事になっています。「こうして顔を合わせて話をするだけで、元気になるのあ」「地域住民は減ってきてても、居る人同士でこれからも支え合っていきましょうや」

サロンで顔を合わすことで、お互いの元気の確認になり、地域のつながりが更に深まりました。



西城地域センター

0824-82-2953



伝えていきたい西城の良さを再発見!

喜寿の方を対象とした“西城ふるさと巡り”「数年前に手術をしたので参加できるか不安だったけど、今日は参加できて本当に良かった」と、この日をひとつの目標に参加された方がおられるほど、西城の恒例行事となっています。

浄久寺や熊野神社など西城の歴史探訪や、比婆山の紅葉を見ながら季節の移り変わりを感じるなど、ふるさとの良さを振り返りました。移動中のバスの中や食事中には、同級生の話や孫の話など、和気藹々と楽しい時間を過ごして頂きました。「久しぶりに会えて良かった」「同い年だとは知らん人もいたけど、参加して話げできて良かった」などと参加者同士親睦も深まり、今年もたくさんの笑顔を見ることができた1日でした。

※“西城ふるさと巡り”は、赤い羽根共同募金配分金を活用して実施しました。

東城地域センター

08477-2-0488

赤い羽根共同募金ご協力、ありがとうございます!

今年も東城地域では“ふれあい東城まつり”、“チャリティーグラウンド・ゴルフ”など、複数のイベントで赤い羽根共同募金にご協力をいただきました。

ふれあい東城まつりでは、「毎年、募金してバッチを集めよるよ」と帽子を見せてくださる方、「普段は出かけんけえ下手じゃけど、これだけは参加するんよ」とチャリティーグラウンド・ゴルフに来てくださる方…毎年の募金行事として参加していただいています。

皆さまからの募金は、地域・在宅福祉事業にかかせない大切な財源として活用されています。



総領地域センター

0824-88-2796

また明日から...



在宅で介護をされている方を対象に、リフレッシュ日帰り旅行を行いました。4月に年間計画をたてる際、要望が一番多かった亀嵩温泉です。

在宅で介護をしていると自分自身の事は後回しになりがちです。ゆっくり温泉に入り美味しい物を食べて、心身共にリフレッシュしていただきたい。そんな思いで実施している事業ですが、バスの中も食事中も介護に関する話題が殆どです。介護している者同士だから共感も出来るし、アドバイスも素直に受け入れられる。「いいけんのはわかっとるけど、優しく声かけ出来ん時があるよ」「うん、あるある」「しんどいときは、OOさん家に行って話を聞いてもらうんよ」「遠慮はいらんよ、おたがいさまじゃけー」。

介護者にとって本当のリフレッシュとは、胸の中にため込んだ思いを打ち明けられる場所と時間なのだ改めて感じた一日でした。



口和地域センター

0824-89-2320

和牛の町 口和町

10月6日、7日と第13回口和モーモー祭りが開催されました。社協からは赤い羽根共同募金、小地域サロンの手芸品販売、車椅子貸し出し、キャラメルポップコーンとジュースの販売で参加しました。

ポップコーンの出来上がる様子をニコニコしながら興味深そうに見入る子ども達や、「これ、知った人が作ってってじゃあ」と手芸作品に見入る方々、孫の話をしながらかお土産にお手玉を買い求められるおばあちゃん、赤い羽根共同募金へも来訪者の方々からご協力を頂き、両日とも多くの方が足を止めてくださいました。

沢山の方の笑顔に触れることができ、人と人との繋がりが深まった二日間でした。

皆様のご協力ありがとうございました。



高野地域センター

0824-86-3044

来年も頑張って野菜作るよ

今年度、庄原市の委託を受け「生きがい創造型サロン(おやしサロン)」を実施しており、この度、「おやしサロン」のある自治会で収穫祭が開催されました。



その中では地元の方をはじめ、都市部から来られた方に「おやしサロン」で育てた野菜の収穫体験があり、大きく育ったサツマイモや落花生等を、子どもから大人まで泥まみれになりながら、楽しく収穫されていました。

「今年は、どんな野菜がいいか試行錯誤しながら植えてみました。“サツマイモ、できてくれてありがとう”“落花生、塩ゆで美味しくてありがとう”来年は、地域の男性をもっと巻き込んでもっと野菜作り頑張るよ」と生き生きと話される世話人の後藤さんの“笑顔”がありました。

来年も、“おやし”の生きがい・活躍の場として収穫祭を通し地元や都市部から来られた方との交流でふれあいの輪を広げていきたいと思ひます。



比和地域センター

0824-85-2300

スポーツ、交流そして募金の秋!!

スポーツの秋です!!10月16日、赤い羽根共同募金のチャリティグラウンドゴルフ大会を開催しました。今回は、比和支所にも参加協力をいただき、72名でゲームスタート!!

比和地域センターでは、毎年2回同じような形で開催していますが、毎回70名弱のご参加をいただき、いつもありがたく思っています。

少し冷え込む秋の夜長の約2時間を、参加者と交流しながら楽しく過ごしました。ご協力ありがとうございました。来年度のご参加もお待ちしております!!



ナイスショット!!



恒例のくじ引き!何番が当たるかな?

元氣報告

東日本大震災義援金24年9月末までの義援金受付総額

88,999,772円

※左記の内83,271,063円は市本庁・支所窓口受付分です。義援金は日本赤十字社を通じ被災地へ送金されています。



よろず相談のご案内

- ◎一般相談 (13:30~15:30)
 毎週水曜日 庄原地域センター
 第1・第3木曜日 西城地域センター
 東城地域センター
 比和地域センター
 第2・第4木曜日 □和地域センター
 第1・第3水曜日 高野地域センター
 第2・第4水曜日 総領地域センター
 (9:00~11:00)

◎法律相談

※予約制で一人の相談時間が30分以内です。
 12月7日(金)・21日(金) (13:00~16:00)
 庄原市ふれあいセンター

◎多重債務相談

※予約制で一人の相談時間が45分以内です。
 毎月第2木曜日 (13:00~16:00)
 庄原市ふれあいセンター

◎ブライダルサポートセンター(結婚相談)

毎週月曜日・第1日曜日 (14:00~16:00)
 庄原市ふれあいセンター

その他の相談にも応じています。
 お近くの地域センターにお問い合わせください。

ご支援、ありがとうございます。

庄原市指定給水装置工事事業者協会様から、地域福祉活動に役立ててくださいとご寄付をいただきました。大切に活用させていただきます。



協会 小林会長

社協 山内会長

里山の工楽知コーナー

「孫は優しい」



本村地区にお住まいの山口琴江さんは、調理師を30年されておりました。その経験と知識を活用し、地域のサロンや寄り合い等でお菓子作りや旬のモノを使った料理を作っておられます。始められた“キッカケ”は何ですか？と伺うと「地域の人々と集まる場で、自分にできることは何かと考え、お菓子を作っていたのがキッカケです」「みんな美味しいよ！とか、どーやって作るん？とか、喜んでくれるのが嬉しくて。何より自分自身が楽しんでるんですよ」と山口さん。

「料理をする時は、孫は優しいって考えながら作ると健康になるよ」「孫は優しいですか？」「そう。ま(豆)ご(ゴマ)わ(わかめ)や(野菜)さ(魚)しい(椎茸)」「なるほど～」最後にステキな言葉でアドバイスをいただきました。

活き活きと地域で過ごされている山口さんをご紹介します。

団体紹介

ご存知ですか人権擁護委員会のことを？

人権擁護委員(庄原市部会)は、つぎのような主に3つの活動を行っています。

1. 常設・特設の中で、「これは『人権問題』ではないだろうか？」と感じたり、「自分で解決出来るかな？」と思い悩むことがあるかと思います。そのような場合に気軽に相談できるのが私たち人権擁護委員です。相談は無料で、難しい手続きは何もありません。相談の内容についての秘密は厳守します。人権相談の開設場所、開設日時等については、下記にお尋ね下さい。

広島法務局三次支局・三次人権擁護委員協議会 0824-62-5070

2. 地域の皆さんが人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。小学校での「人権教室」の開催や「人権の花運動」の実施、地元企業での人権講習会、社会福祉施設での人権啓発などを行っています。

3. 人権侵害による被害者を救済します。「人権を侵害された」という被害者からの申告や相談を受けて、法務局職員と共に情報収集、事件の調査・処理にあたります。また、調査の途中で当事者の主張や利害を調整し、事案の円満な解決を図ることも行います。

市民レポート

地域のものがたり



市民レポーター
 〇和町永田在住の
渋川 玉素さん

平成17年4月、合併によって自治振興区の役員となり、ある人に「子どもは地域の宝、未来の宝」と言われ、子ども達と逢える所、友好を深められる所はどこかと考え、ふれあい加工所の前での「声掛け運動」と併せ、子ども達を守る為にと、朝は7時過ぎ、夕方は4時過ぎの一斉下校時に『スピードは控えめ、人を見たらゆるめ』をスローガンに、登下校の交通安全運動を始めました。



定年後は、防犯パトロール、歩道の草取りや、小学校の正面玄関やプール周りの草刈り、冬期には除雪作業なども併せて行うようになり、今では子ども達の登下校時の元気な挨拶や、明るく活発な笑い声が「頑張るぞ!」というエネルギーとなり、私自身の元気の源となっています。

これからもまわりの方に支えて頂きながら、大切な地域の宝、未来の宝の為に、「礼儀」「躰」「感謝」「絆」を学校、家庭、地域が一带となり支えていくための小さな力になれるよう、感謝の気持ちを胸に、この活動を続けて行きたいと思っています。

広告

**一人で悩まないで
 まず相談してください。**

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

司法書士 **飯田 一生**
(広島司法書士会所属)

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号) (司法書士登録番号828号)
 〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パルナシユB2階 TEL0824-72-2315 (要予約)

募集中 「おせち弁当お届け活動」を
今年も実施いたします!!

◎調理◎ ◎配達◎ ◎食材提供◎

一緒に活動、協力くださる方をそれぞれ募集しています!!
 お申し込みお問い合わせは、各地域センターまでお願いします。

学生の皆さんへ 専門学校や短大・大学へ通う学生の皆さん、社会福祉協議会でボランティア活動をしてみませんか。ご希望の方は、庄原市社会福祉協議会へご連絡ください。